

### 3) 大学院学生数（医学系専攻博士課程）（平成23年5月1日現在）

学年	定員	人員	内 訳		大 学 院 委 員 会				
			男	女	委 員 長：栗原 敏 学長				
1	66	32	22	10	委 員：松藤 千弥 教授 阿部 俊昭 教授				
2	66	34	26	8	近藤 一博 教授 細谷 龍男 教授				
3	66	19	16	3	岡部 正隆 教授 中川 秀己 教授				
4	66	25	16	9	矢永 勝彦 教授				
計	264	110	80	30	オブザーバ：高木 敬三 専務理事 山田 尚 教授				

### 4) 大学院学生数（看護学専攻修士課程）（平成23年10月1日現在）－21年4月開設

学年	定員	人員	内 訳		大 学 院 委 員 会（修 士 課 程）			
			男	女	委 員 長：櫻井 尚子 専攻長			
1	10	9	1	8	委 員：柿川 房子 教授 櫻井 尚子 教授			
2	10	13	1	12	高島 尚美 教授 茅島 江子 教授			
計	20	22	2	20	永野みどり 教授（平成23年10月1日着任）			

## 5) 大学および大学院など

### (1) 医 学 科

#### I. 教学関係

##### 1. 教学委員会

平成23年度医学科教学委員会は国領校選出委員2名および西新橋校選出委員15名の計17名で運営された。委員会は毎月2回定例で開催された。平成23年度の各教学委員の役割分担は以下の通りである。

医学科教学委員会：松藤千弥（教学委員長）、福田国彦（副教学委員長、学生保健指導委員長）、岡野孝（副教学委員長）、中川秀己（学生部長、学生担当委員長）、羽野寛（副学生部長、学生担当副委員長）、福山隆夫（副学生部長、学生担当副委員長、1学年担当）、柳澤裕之（カリキュラム委員長）、福島統（カリキュラム自己点検・評価委員長）、木村直史（試験委員長）、中山和彦（学生相談室委員長）、川村哲也（臨床実習教育委員長）、靱山俊彦（2学年担当）、近藤一博（教育施設委員長、3学年担当）、小川武希（4学年担当）、尾上尚志（5学年担当）、宇都宮一典（6学年担当）、伊坪真理子

##### 2. 平成23年度医学科の進級、卒業者

1年：進級	111人	留年	0人	退学	2人
2年： "	102人	"	7人	休学	1人 退学 1人
3年： "	102人	"	1人		
4年： "	102人	"	6人		
5年： "	90人	"	0人		
6年：卒業	101人	"	0人		

以上の結果、平成24年度の学生数は1年－112人、2年－119人、3年－103人、4年－108人、5年－102人、6年－90人、合計634人

##### 3. カリキュラムの改訂と経過

1年生新入生オリエンテーションの他に一泊研修を導入した。前臨床実習の実施時期を7月中旬より5月第5週～6月第1週に移動したことにより、夏休みの開始時期を1週間早めることができた。3年生社会医学Ⅰの一部（環境衛生、地域保健、保健統計、疫学、環境保健医学演習・実習）を4年生社会医学に移動した。臨床医学Ⅰユニット「画像診断学」を9コマから11コマに拡充。臨床医学Ⅰユニット「臨床実習入門」を4年次コースから5年次コースに変更。

#### 4. 教学委員と学生会委員との懇談会

例年同様に平成23年7月11日（月）、平成23年12月19日（月）に開催された。学生会からのおもな報告は、前年度活動報告および会計報告、平成23年度予算（案）、第54回東医体実行委員会報告、平成23年度学生会活動報告、学生による教員・教育評価活動報告、学生委員によるアンケート結果報告等であった。また、設備の改善および講義配布資料の改善に関する要望があった。

#### 5. 第57回～第61回 Faculty Development

平成23年4月以降の開催および修了証を授与された参加者数は以下の通りである。

##### 第57回 Faculty Development

日 時：平成23年6月18日（土）

場 所：西新橋校

テーマ：試験問題作成

修了証受領者（41名、実行委員10名）

##### 第58回 Faculty Development

日 時：平成22年6月19日（日）

場 所：西新橋校

テーマ：在宅ケア実習指導者FDワークショップ

修了証受領者（12名、実行委員2名）

##### 第59回 Faculty Development

日 時：平成23年10月29日（土）

場 所：西新橋校

テーマ：クリニカル・クラークシップ指導医養成

修了証受領者（30名、実行委員10名）

##### 第60回 Faculty Development

日 時：平成23年12月10日（土）

場 所：国領校

テーマ：初年次教育に関するワークショップ

修了証受領者（26名、実行委員10名）

##### 第61回 Faculty Development

日 時：平成23年12月10日（土）

場 所：西新橋校

テーマ：OSCE評価者トレーニング

修了証受領者（36名、実行委員14名）

#### 6. 第52回～第53回医学教育セミナー

以下のとおり開催された。

##### 第52回医学教育セミナー

日 時：平成23年6月10日（金）

場 所：西新橋校

講 演：電子カルテと臨床実習・臨床研修

堀有行教授（金沢医科大学、医学教育学）

##### 第53回医学教育セミナー

日 時：平成24年1月17日（火）

場 所：西新橋校

講 演：新型インフルエンザとの戦い-わたしたちに出来ること-進藤奈邦子教授（WHO（世界保健機構）メディカルオフィサー、東京慈恵会医科大学客員教授）

#### 7. その他の報告事項

##### 1) 新入生オリエンテーション・スタートアップ宿泊研修

平成23年4月8日（金）～10日（日）の期間で新1年生を対象としてオリエンテーションを

実施した。8日は、学長より建学の精神と医学生としての心構えについての講話、カリキュラム、健康管理、学生生活の諸注意、学生生活アドバイザーとのグループ討論が行なわれた。9～10日は新入生全員を対象としてスタートアップ宿泊研修をエバグリーン富士（富士吉田市）にて実施した。参加者は、学生154名（医学科112名・看護学科42名）、教職員36名の合計190名であった。（スタートアップ宿泊研修は今年度から新たに実施）。

2) 首都大学東京から学生の受入れ

首都大学東京との教育・研究交流協定書に基づき特別科目等履修生を受入れた。平成23年度は国領校で前期4名、後期5名（実質7名）、西新橋校1名、合計8名のうち6名に単位を認定した。

3) 学祖の墓参および学長、教学委員と学生の懇親会

学長、教学委員、学生代表が平成23年10月8日（土）に青山墓地に眠る学祖高木兼寛先生の墓参をした。また学祖を偲んで千代田区一ツ橋の如水會館で懇親会を開催した。

4) 学生生活アドバイザー

担当教員はそれぞれ4～5名の学生を受持っている。1年生は国領校教員および第三病院勤務教員、2年生は西新橋校基礎講座教員が担当している。また、総括と意見交換のためにアドバイザーが集まって懇談会を開催した。

5) 共用試験システム

「臨床実習開始前の学生評価のための共用試験システム」が例年どおり運用された。OSCEは平成24年1月14日（土）に西新橋校大学1号館8階演習室および7階実習室で、CBTは平成23年2月3日（金）に西新橋校4階講堂で実施された。OSCE受験者数108名、CBT受験者数103名（欠席者1名）であった。またCBTの再試験は3名であった。

6) 4大学学生教育交流会

本学と昭和大学、東邦大学、東京医科大学の4校が持ち回りで年2回の開催が続けられている。カリキュラム全般および臨床実習、卒業試験、医師国家試験、共用試験等に関する話題を中心に継続的な交流が図られている。4校の協力で展開している戦略的の大学連携支援事業は昨年度で終了となったが、今後も継続して本交流会を開催することが確認された。平成23年度の開催日および当番校は以下の通りであった。

第26回平成23年5月13日（金）東京医科大学

第27回平成23年11月18日（金）東邦大学

7) オープンキャンパス

例年8・9・10月の各月の土曜日を使って3回開催されていた医学科大学説明会は、8月の金・土曜日の連日と9月の土曜日の午後1時30分から開催した。終了後、大学1号館教育施設の見学と個別相談会を実施した。

1回目：平成23年8月19日（金）中央講堂 参加者：約590名

2回目：平成23年8月20日（土）中央講堂 参加者：約550名

3回目：平成23年9月24日（土）1号館講堂 参加者：約300名

8) 教育施設

平成25年度からの看護学科入学定員増員計画に基づき、看護学科校舎増改築について検討し3月から工事が開始された（完成は平成24年12月末予定）。来年度は両学科の授業が国領校本館をメインとして使用する予定である。これに対応するために本館1階トイレの改修を実施した（2・3階トイレは平成24年度改修予定）。また、学生会からの強い要望により体育館ボイラーの改修工事を実施した。その他の教育施設では、講義室の机・椅子一部入れ替え（70台）、医学科男子学生ロッカーを更新した。（医学科女子学生ロッカーは平成24年度更新予定）。

## II. 入学試験

1. 入学試験は、平成24年2月5日（日）に五反田TOCビルで一次試験を、2月18日（土）・19日（日）に本学西新橋校舎で二次試験を実施し、2月22日（水）午後3時に合格発表を行った。志願者数は2,507名、入学者数は112名である。入学者の内訳は下記の通りである。

- ① 男子 84名、女子 28名
- ② 現役 53名、1浪 40名、2浪 12名、その他 7名
- ③ 地域別入学者数
 

北海道	1名	東北地方	2名
東京および関東地方	94名	甲信越・北陸地方	3名
東海・近畿地方	7名	山陽地方	1名
四国地方	2名	九州地方	0名
その他（在外教育施設等）2名			

### Ⅲ. 国家試験

#### 1. 医師国家試験

第106回医師国家試験が2月11、12、13日の3日間にわたって施行され、結果が3月19日に発表され、本学は、104名中99名合格（95.2%）、新卒は101名中98名合格（97.0%）、既卒は3名中1名合格（33.3%）であった。

国・公・私立大学の総合順位では、第15位（前年は第3位）、私立大学だけでは第6位（前年は第2位）であった。他の私立大学の状況は兵庫医科大学（99.0% 1位）、自治医科大学（98.1% 2位）、慶応義塾大学医学部（98.0% 3位）、日本大学医学部（97.3% 4位）、埼玉医科大学（95.3% 5位）北里大学（95.0% 7位）、順天堂大学医学部（94.8% 8位）であった。

全国受験者総数は、8,521名、うち合格者7,688名で、合格率は90.2%（前年は89.3%）であった。

### Ⅳ. 退任記念講義

平成24年1月31日（火）午後2時00分から大学1号館講堂において開催した。

栗原 敏 教授（細胞生理学講座）

演 題：「生理学に惹かれて」

大川 清 教授（生化学講座）

演 題：「多くの出会い、たくさんの力に支えられて」

田中忠夫 教授（産婦人科学講座）

演 題：「妊娠とがんの免疫学～習慣流産からの知見～」

基礎医学並びに臨床医学の分野で活躍された栗原、大川、田中教授の含蓄ある講義に学生及び教職員一同が大変感銘を受けた。次いで松藤千弥教学委員長から同じく定年退任される6名の持尾聡一郎教授（内科学：神経内科）、坂井春男教授（脳神経外科）、小林 進教授（外科学）、内田 賢教授（外科学）、武田信彬教授（内科学：総合診療部）、白崎嘉昭教授（外国語教室：初修外国語研究室）の略歴が紹介され、羽野医学科長より挨拶があり記念品を贈呈した。また、同窓会、父兄会、医学科学生会より記念品の贈呈があった。

退任記念講義終了後、退任される9教授を囲んで退任記念パーティーが「東京プリンスホテル マグノリアホール」において開催した。会場には、教職員、同窓、学生が参集し、盛大なうちに会は終了した。

国領校では、平成24年1月21日（土）午後2時から国領校本館講堂において白崎嘉昭教授（初修外国語：ドイツ語研究室）演題「慈恵における28年」、穴澤貞夫教授（看護学科：健康科学）演題「違いを知る」、芳賀佐和子教授（看護学科：基礎看護学）演題「日本の看護教育は慈恵から始まった」、の最終講義を実施した。終了後、ベラ食堂にて記念パーティーを開催した。

#### (2) 看護学科

### I. 教学関係

#### 1. 教学委員会

看護学科教学委員会は看護学科教学委員長1名、看護学科教学委員4名をもって構成され、教学委員会は定例として毎月1回開催されている。

教学委員は以下の通りである。

平成23年4月～平成24年3月

教学委員長 濱中 喜代

教学委員 芳賀佐和子、藤野 彰子

高島 尚美、嶋澤 順子

## 2. 教学関連の主な事項

- ① 平成23年度は、1年生（20期生）42名、2年生（19期生）44名、3年生（18期生）40名、4年生（17期生）40名で新学期をむかえた。
- ② 平成23年度オリエンテーションは、4月8日から16日にかけて実施した。カリキュラムや学生生活上の注意などの説明、健康診断や防災、防犯についての講習会、カルト教団への注意を喚起する講演も平行して行なわれた。また、今年度は、4月9日、10日で医学科新入生と合同で、看護学科新入生がスタートアップ宿泊研修（山梨県富士吉田市）に参加した。
- ③ 平成23年4月16日、塚田宏氏（日本AIS協会東京支部長）による講演会（テーマ「看護を学ぶ学生に望むこと～患者からのメッセージ」）を行なった。
- ④ 次の期間に定期試験を実施した。
  - ・前期 平成23年6月26日  
平成23年8月26日～9月1日、9月12日～15日
  - ・後期 平成24年1月31日～2月6日
- ⑤ 平成23年7月23日、19期生の「看護への思いを新たにする式」の一環として、中平美雪氏（東京慈恵会医科大学附属第三病院看護部・・・本学7期生）による講演会が実施され、9月3日に本学関係者、ご父母をお招きし、式典を行った。また、同日保護者会も開催し、有意義な意見交換ができた。
- ⑥ 平成23年10月22日、鮫島京子氏（看護師・心理カウンセラー）による講演会「命の大切さ！笑顔で生きる喜び」を開催した。
- ⑦ 平成23年10月8日には学祖高木兼寛先生の墓参があり、学生代表が参加した。
- ⑧ 平成23年10月28日には解剖諸霊位供養法会が行なわれ、4年生が参加した。
- ⑨ 平成23年11月26日、4年生の看護研究発表会が行なわれた。
- ⑩ 平成24年3月7日、兼任教員、非常勤講師を交え、講師会を開催した。
- ⑪ 保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に伴う、教育課程の変更の申請手続きを行なった。これにより、平成24年度入学生より、保健師の教育課程が選択制となった。
- ⑫ 特色GP補助金によるコンピュータ試験を、平成24年2月28日に、1年生を対象に実施した。
- ⑬ 平成24年3月9日には医学科と合同の卒業式が西新橋で行なわれ、17期生39名が卒業し、慈大賞と同窓会賞がそれぞれ1名に贈られた。

## II. 入学試験

1. 平成24年度入学試験は、平成24年2月10日に一次試験を、2月14日に二次試験を実施した。志願者数は、350名、入学者は42名、その内訳は次のとおりである。
  - ① 女子 40名、男子 2名
  - ② 現役 28名、1浪 13名、その他 1名
  - ③ 地域別入学者数

北海道地方	2名	東北地方	5名
東京および関東地方	30名	信越地方	1名
東海地方	1名	近畿地方	1名
中国・四国地方	2名	九州・沖縄地方	0名
2. 平成23年度オープンキャンパスは、平成23年7月16日と17日の2日間実施し、参加者数は590名（前年比+61名）であった。
3. 受験生の確保を目的に、学外で開催された2箇所大学のガイダンス等に教員・学事課職員が参加した。

4. 高等学校 4 校へ訪問し、模擬講義を行なった。

### Ⅲ. 国家試験

#### 1. 看護師・保健師国家試験

第101回看護師国家試験は、平成24年2月19日（日）に、第98回保健師国家試験は平成24年2月17日（金）に実施され、その結果が3月26日（月）に発表された。看護師国家試験は、17期生39名、16期生1名の計40名が受験し、40名合格（100.0%）、保健師は17期生39名、16期生2名の計41名が受験し、40名合格（97.6%）であった。

なお、全国の看護師国家試験合格率は90.1%、保健師国家試験合格率は86.0%であった。

### Ⅳ. 学生生活アドバイザー

平成21年度より、学生生活を穏やかに豊かなものとするため、学習上や生活上の悩みを気軽に相談できる学生生活アドバイザー制度を導入した。1、2年生を対象とし、比較的若手の教員が4～5名の学生を担当し、前期・後期それぞれ1回の交流活動の他、適宜自由に活動を行なった。学生アンケートの結果は好評であった。

### Ⅴ. 看護学科開設20年記念行事

平成23年10月29日、芳賀佐和子基礎看護学領域教授による記念講演「看護学科20年の歩み～慈恵看護教育の流れの中で～」、シンポジウム「開設20年を迎えて今後への期待」、懇親会が行なわれた。

## (3) 大学院

### 1. 医学研究科博士課程

平成19年度より大学院改革を実施し、以後大学院の改善充実化を図るため種々検討を重ね、平成23年度は以下のとおり実施した。

#### 1) 新研究助成制度の運営

平成22年度の経常費補助金特別補助の大幅な見直しにより、大学院生に対する大学院研究助成金と大学院教員に対する医学研究科研究推進費の助成制度が廃止された。本学では研究の充実化と活性化を堅持するため平成23年度より以下のとおりとした。

##### ① 大学院研究助成金

・助成額：「50万円」を「30万円」とした。平成23年度採択件数：12件

##### ② 医学研究科研究推進費

・研究助成期間：「3年間」を「2年間」とした。

・1件あたりの年間助成額：「上限500万円」を「上限300万円」とした。

平成23年度採択件数：新規2件、継続5件

#### 2) 大学院教員の更新

大学院教員基準では、大学院教員の最近5年間の業績を評価し、更新手続きを行うことになっている。平成19年度に任用された大学院教授を対象に更新の手続きを実施し、確認した。

#### 3) 早稲田大学との連携大学院教育

医・理工融合分野において活躍する人材の育成と教育研究協力を行うため、本学大学院と早稲田大学理工学術院先進理工学研究科との連携大学院教育に関する協定を締結することが承認された

#### 4) 大学院教員へFacultyDevelopmentの実施

大学院委員会と倫理委員会共催でFD「臨床研究に関する講習会」を実施した。

日時：平成23年6月21日（火）18：00～ 講師：薄井紀子

#### 5) カリキュラムの内容の検証

・社会人大学院生のニーズにより、平成23年度から共通カリキュラムにe-learningシステムを利用した「疫学・臨床研究」の科目を導入し、実施した。履修者数16名

・大学院共通カリキュラムの特別講義では、新任の教授だけではなく、本学で活躍している若手研究者を講師として講義を行った。

平成24年度の大学院（博士課程）入試は2回実施し、1回目は平成23年10月1日に、2回目は

平成24年1月28日に実施した。その結果、27名（うち社会人5名）が合格した。本学の大学院生は本学の各講座、総合医科学研究センターのみならず、国外ではカリフォルニア大学、ボストン大学、スタンフォード大学、シーダスサイナイメディカルセンター、など、国内では防衛大学校、慶應大学および放射線医学総合研究所、国立成育医療センター、国立感染症研究所など国内外の様々な大学、研究所でも広く研究を行っている。

## 2. 看護学専攻修士課程

平成23年度は課程の安定的な運営に努めるべく研究科委員会、大学院委員会、教学委員会、FD委員会、大学自己点検・評価委員会、入学試験委員会の有機的連携と運営を図った。

また、看護学科との連携の一環として、初めて大学院・看護学科共催のFDを平成23年9月10日（土）に開催した。

「看護実践と理論について」（日本赤十字看護大学院研究科長 筒井 真優美教授）

- 1) 院生に対する教育研究助成は、大学院研究助成制度による使用分と研究指導費による助成により、活動の範囲や内容を高めることが図れた。大学院研究助成制度による研究助成採択者は12名。
- 2) 入学試験は、募集を平成23年8月8日（月）～9月9日（金）間に行い、出願資格認定試験を平成22年9月17日（土）、一般入学試験を平成22年9月25日（日）に実施した。その結果、13名の応募があり、11名が合格した。
- 3) 平成21年4月入学院生1名と平成22年4月入学院生の修了式を平成23年3月23日（金）に挙行した。修了者：12名。
- 4) 看護管理学分野の後任責任者に、10月1日付で永野みどり教授が就任した。
- 5) 院生による授業評価については、開設後2年間実施した評価項目に対する数値化について、実態を反映していない（記載者が特定されやすいために、院生の抑制が働くという意味）との判断から、講義終了後に科目責任者と院生が講義内容について話し合いを持つ方式に改めた。
- 6) 講義室の拡張については、大学管理棟の4階の看護学科の新橋キャンパスでの実習用施設の移転に併せて本課程の講義室を3室設置した。
- 7) 専門看護師教育課程（認定機関：一般社団法人日本看護系大学協議会所管）は、クリティカルケア看護分野、がん看護分野において、それぞれ専門看護師教育課程の認定を23年2月16日付けにて受けた。また新たに平成24年度から専門看護師教育課程の充実化のもと下記事項が追加として求められた。
  - ・ 共通科目の必修科目増（3科目）・臨床薬理学・フィジカルアセスメント ・病態生理学
  - ・ 実習時間の増加（6→10単位）（270→450時間）
 これらに対応すべく新カリキュラムWGを立ち上げ検討を行った。
- 8) 専門看護師教育課程を受講して本年に2名が専門看護師認定試験を受験し、両名ともに合格した。（分野は急性・重症患者看護分野で1名、がん看護分野で1名）

## 6) 慈恵看護専門学校の状況

### 看護専門学校学生数（平成23年5月1日現在）

	学生総定員数	1学年定員数	1年生	2年生	3年生	計
	人	人	人	人	人	人
慈恵看護専門学校	300	100	104	95	120	319
慈恵第三看護専門学校	150	50	52	58	51	161
慈恵柏看護専門学校	240	80	78	92	76	246
計	690	230	234	245	247	726